

水谷 規男

高等司法研究科・教授

[研究]

ほぼ1年間を通して作業を進めてきた未決拘禁に関する単著を刊行することができた。それ以外にも、被害者と刑事手続との関係についての論文、再審に関する口頭報告を収録したもの、訴追制度に関する学習用教材など、4冊の共著の著書で研究成果を公表した。

[教育]

高等司法研究科では、刑事訴訟法応用、少年法の一部、模擬裁判(刑事)の一部、裁判実務基礎(刑事)の一部の授業を担当した。このほか、法学部では犯罪者処遇法(従前の特別講義(犯罪者処遇法)を常設科目化したもの)を担当し、全学教育推進機構においても基礎セミナー「裁判員裁判を考える」を担当した。いずれの授業においても、双方向・対話型の授業を展開し、授業の一環として施設参観を行う(少年法、犯罪者処遇法)など、学生の知的好奇心を刺激する授業展開を心掛けた。

[管理運営]

高等司法研究科副研究科長(学務担当)を務めた。全学の委員としては、教育改革推進会議と教育改革支援室の委員を務め、大学全体の教育の改善に寄与した。

[社会貢献]

学会における役職としては、日本刑法学会理事、比較法学会理事を務めた。入試広報を兼ねた啓蒙的活動として、高校生向けの模擬講義(模擬証人尋問)を2回行った。